

## 12月11日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●ウクライナ、ロシア軍の攻撃で冬季の電力不足継続(2022年12月9日)

[キーフ 9日 ロイター] - ウクライナ当局者は9日、ロシア軍の砲撃を受けている国内のエネルギーシステムについて、安定しつつあるものの、冬の間は電力不足が続くとの見方を示した。

シュミハリ首相は政府会議で「この冬は常に電力消費制限の中で生活することになる」と報告。エネルギー相に対し、重要インフラ、医療機関、防衛産業などに優先的に電力を供給するよう指示すると明らかにした。

これに先立ち、国営電力会社「ウクルエネルギー」のクドリツキー最高経営責任者(CEO)は記者団に対し、ウクライナのエネルギーシステムは安定した状態に戻つつあるとしながらも、現在の発電量では「少なくとも秋から冬にかけて電力不足に陥る」との見方を示した。

クドリツキー氏によると、ウクライナのエネルギーインフラは10月以降、1000発以上のミサイルとドローン(無人機)による攻撃を受けた。



### ●プーチン氏「西側への信頼はゼロに近い」メルケル氏発言巡り(毎日新聞、2022年12月10日)

ロシアのプーチン大統領は9日、西側諸国に対する「信頼はゼロに近い」と述べた。2014年から続くウクライナ東部紛争の停戦合意(ミンスク合意)を巡り、仲介したドイツのメルケル前首相が、ウクライナの軍事力を整備するための時間稼ぎを狙っていたと発言したことに反発した。

プーチン氏は訪問先のキルギスの首都ビシケクで、記者の質問に回答した。

メルケル氏は7日公開された独紙とのインタビューで「14年のミンスク合意はウクライナに時間を与える試みだった」と発言。「14年から15年にかけてのウクライナ(の軍事力)は今ほどではなかった」とも述べ、ウクライナ軍の増強に一定の時間が必要だったとの認識を示していた。

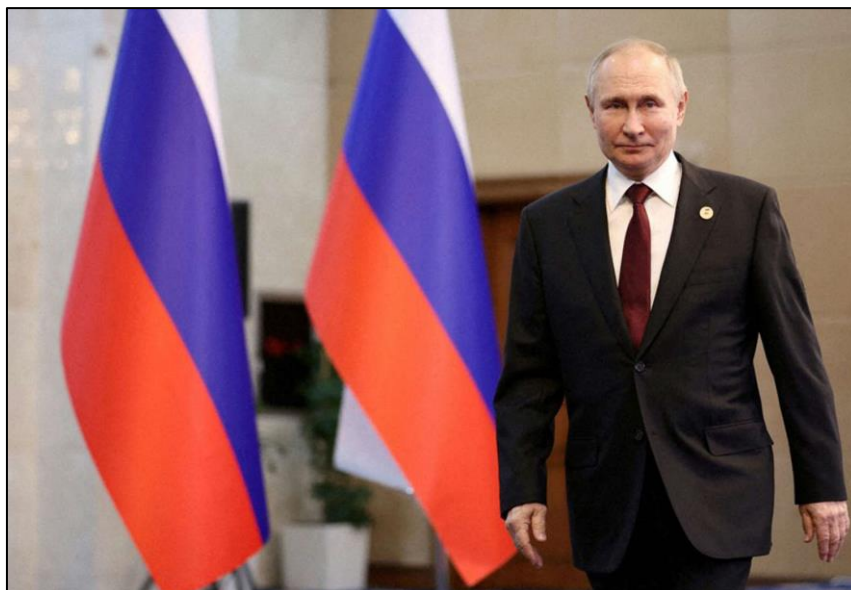
フランスと共に停戦合意の仲介役を担ったメルケル氏の発言について、プーチン氏は「このような発言の後では、どのように、何を交渉して、誰かと交渉できるのか、保証はあるのかという疑問が湧いてくる」と批判をにじませた。

14年に始まったウクライナ東部紛争では、ロシアが支援した武装勢力とウクライナ軍が衝突し、後にロシアが非正規部隊を送り込んで加勢したとみられている。追い込まれたウクライナが14年9月と15年2月の2度にわたり、停戦合意に応じる形となった。

合意では、紛争地域からの重火器や外国部隊の撤収などで折り合った一方、ウクライナは選挙を実

施した後で親露派の支配地域に「特別な地位」を与える項目などで譲歩した。ウクライナ側が履行できなかった項目が多かったことから、ロシアや親露派が批判材料として、ウクライナを揺さぶり続けた。

一方、ロシアや支援する親露派もミンスク合意の履行に取り組まなかったと指摘されている。今年 2 月には、親露派勢力が自称する「ドネツク人民共和国」と「ルガンスク人民共和国」を国家承認する決定を下し、ミンスク合意を実質的に破棄した。【大前仁】



## ●プーチン氏、ウクライナ紛争終結には「合意」必要(AFPBB News、2022年12月10日)

プーチン氏は訪問先のキルギスの首都ビシケクで、「もちろん(西側諸国への)信頼はゼロに近い。だが最終的には合意に達する必要がある」「何度も言っているように、われわれにはこうした合意を受け入れる用意がある」と述べた。

これに先立ちアンゲラ・メルケル前独首相は週刊紙ツァイトに対し、ドイツとフランスが仲介したウクライナ東部紛争の停戦合意である「ミンスク合意」について、ウクライナが軍事力を強化するための「時間稼ぎ」を狙ったものだったと明かしていた。

メルケル氏の発言を受け、プーチン氏は「ドイツ政府は誠実に行動しているとずっと思っていた」が「失望した」とした上で、「このような発言の後では、どうすれば合意できるのか、合意する相手はいるのか、保証はあるのかという疑問が湧いてくる」と述べた。(c)AFP

【翻訳編集】AFPBB News



## ●米民主上院議員、離党し無所属に 上院構成 50 対 50 に(2022年12月10日)

[ワシントン 9日 ロイター] - 米アリゾナ州選出のキルステン・シネマ上院議員は9日、民主党を離党し無所属に切り替えたと発表した。議会上院は、南部ジョージア州で6日行われた決選投票で民主党現職のラファエル・ワーノック氏が勝利したことにより51議席を確保していたが、シネマ氏の離党により50対50で共和党と拮抗することになる。

シネマ氏は地元メディアへの寄稿で「ワシントンの壊れた党派システムからの独立を宣言し、アリゾナで増える政党政治を拒否する人々に加わった」と述べた。

米ホワイトハウスのジャンピエール報道官は、シネマ議員の離党後も上院で民主党が過半数票を獲得できる構図は変わらず、同議員とも良好な関係を継続できるとの認識を示した。

上院では採決時に賛否が同数の場合、議長を兼務するハリス副大統領が決裁票を投じることができる。

シネマ氏の側近は、同氏が民主党会派に残るかどうかは明言しなかったが、シネマ氏自身は米政治専門サイトのポリティコに9日に掲載されたインタビューの中で、共和党会派には加わらないと明らかにしている。

上院ではサンダース議員とキング議員も無所属だが、民主党会派に属している。

民主党関係者によると、シネマ氏は8日に上院民主党トップのシューマー院内総務に離党を伝えた。シューマー氏は声明で「シネマ氏は委員会の割り当てを維持するよう求め、これに同意した」とし、シネマ氏が無所属になっても、民主党は委員会の過半数を占めるとの見方を示した。

シネマ氏は税制については共和党寄りで、バイデン大統領の富裕層や企業に対する増税に反対している。



## ●ナチの娯楽(2022年11月21日)

ナチの娯楽。彼らは民間人を棺桶に入れ、フィルムで包みました。

この男が生き埋めにならなかったことを願う。これらのろくでなしから、これを期待できますが。

<https://twitter.com/i/status/1594603993137041408>



## ●ヘルソン地域の当局は一時的な行政首都としてヘニチェスクに移動(2022年11月12日)

ドニエプル川の右岸からのロシア軍の撤退後、ヘルソンから約 200km 離れたアゾフ海の海岸に位置するヘニチェスクは、ヘルソン地域の行政の中心地となった。これは、ゴンチャールを通じてクリミアへの入り口からそう遠くない。市の人口は約 19.5 千人です。特別作戦の開始時に、ほぼ 30 万人がヘルソンに住んでいた。



「現在、ヘルソン地方の暫定行政首都はヘニチェスクである。すべての主要な当局はそこに集中している」と、地方政府の副議長のスポークスマンであるアレクサンダー・フォミンは語った。

港とリゾートとして知られるヘニチェスクは、ウクライナでの特別作戦が開始された直後の 2 月下旬にロシア軍の支配下に置かれた。

ウクライナの軍人が街を離れるとき、彼らはプロモイナ海峡を横切ってアルバート砂州に至る道路橋

を爆破しました。ウクライナ軍は、このようにしてロシア軍の前進を遅らせようとした。

### 「人々の忍耐は沸点に達した」

ヨルダンのアラブの春は権力の変化には至りませんでした。国は依然として一つと考えられている。

橋の修復は 9 月初旬に始まった。「修理作業には 20 人の工務店が関わっている。現在までに、クリミア共和国でレンタルされた特別な装置によって、破壊された橋のスパンが海峡の底から持ち上げられた。新たに鉄筋コンクリートの梁が 3 本敷設された。橋の再建は 10 月末までに完了する予定」とヘニチェスク地区の管理者は 9 月初旬に Telegram チャンネルで報告しました。

11月10日に、爆破された橋の一部の梁が既に復元されているというメッセージが Genichesk 地区の Telegram チャンネルに表示されました。11 月末までに右側車線の通行を開始する予定です。

「現時点では、爆破された 3 本の梁を交換し、左車線の通行を回復した。文字通り明日、残りの 3 本の梁を交換します」と上級建設チームは述べた。

この地域はアディゲヤの後援を受けている。7 月末、共和国当局は 20 トンの人道支援物資を マイコープからジェニチェスクに送ったと、アディゲ・ムラト・クンピロフの首長は電報チャンネルに書いた。

さらに、共和国当局は専門家をヘニチェスク地区に派遣し、地方行政にコンサルティングと方法論的支援を提供した。社会経済状況と必要な支援の量が評価され、タスクのリストが作成された。

現在、ヘニチェスク当局の優先課題は、地域の社会機関に石炭を提供することである。DPR からインポートされる。

1,250 トン以上の固形燃料が学校を含む教育機関に届けられ、11 月 7 日に研究が開始されました。「また、80 トン以上がヘニチェスク市区の文化およびスポーツ機関によって受領された」と地区管理者は付け加えた。

石炭は医療機関にも届けられます。40 トンの石炭がヘニチェスク中央地区病院に運ばれ、地域のすべての医療機関に届けられた。

地元当局は、まもなく無料の石炭が地元住民に提供されると述べた - ストーブ暖房付きの家当たり 2 トンだ。

ヘルソン地域の代理知事の戒厳令に関連して、ウラジミール・サルドは、ヘニチェスクを含む地域全体でのアルコールの小売販売を禁止した。

「新たに導入された規範に違反した場合、罰が与えられる。個人には最大 5 万ルーブルの罰金、法人には 10 万から 30 万ルーブルの罰金が科せられる。また、文書のテキストによると、アルコールまたはアルコール含有製品の完全な没収が可能」と、ヘルソン地域の管理の電報チャンネルのメッセージは述べている。

### 軍隊の撤退

ロシア軍がドニエプル川の右岸から左岸に移動した後、ヘニチェスクはヘルソン地方の行政の中心地となった。

この決定は、特別軍事作戦セルゲイ・スロヴィキンのゾーンにいる軍隊のグループの司令官の報告を受けて、11 月 9 日にロシア国防省のセルゲイ・ショイグ長官によって下された。

スロビキンは、軍隊を撤退させるという決定は、カホフスカヤ水力発電所の下領土の洪水による RF 軍グループの孤立の脅威にも関連していることを強調しました。

軍隊に加えて、11 万 5000 人の民間人、行政機関、緊急サービスがこの地域から避難した。